

令和元年 6 月 1 3 日

鹿児島保健医療圏
地域医療構想調整会議議長 様

医療法人徳洲会
鹿児島徳洲会病院
病院長 池田佳広

「地域の医療提供体制に影響を与える病院開設等の申請内容」鹿児島医療圏地域医療構想調整会議及び高度急性期・急性期専門部会の意見について回答いたします。

1, 調整会議委員からの意見等について

(1) 老朽化のことは理解できるが、新地への移転の必要性はあるかどうか

(回答)

当院としては、建物の老朽化や医療法新基準、療養環境や患者サービスの向上を図るためには、相応の敷地面積が必要であると考えております。

(2) 医療機関は医療提供や雇用確保、街づくりなど含め地域の存続のために絶対必要なものである。しかし現在、谷山、紫原、郡元地区においては、高度急性期や急性期又は慢性期の病床は充足されていると思う。新しい大きな病院が出来ると、地域医療のバランスや中小病院の雇用問題にも大きな影響を及ぼすことが懸念され、各医療機関との連携にも影響がでることが危惧される。

(回答)

1, 地域のバランスについて

鹿児島保健医療圏全体を俯瞰し、人口構成や大病院の数、医療ニーズなどを踏まえた上で総合的に勘案すると、当院の移転については鹿児島保健医療圏全体のバランスを整えると思われまます。地域住民の視点からも、救急医療においての選択肢が増え安心につながると考えております。

2, 中小病院の雇用問題について

当院の昨年度の採用状況については、全体のうち新卒者約 3 割、既卒者約 7 割でした。既卒者には、当法人内からの転勤者も含んでおります。移転後に既卒者の採用者が増えないと言いは難しいですが、地域中小病院への配慮を持った採用活動を行いたいと思ひます。

2, 第5回高度急性期及び急性期専門部会で再度確認を求められた事項

(1) 病床稼働率

(回答)

(別紙資料1)

(2) 常勤医師の時間外勤務時間

(回答)

労働基準法に則った常勤医師1人あたりの平均時間外労働

35.0時間/月 (2019年1月～4月データ)

医師により時間外労働のばらつきが見受けられるので、今後は是正をしたいと考えております。

病床稼働率 (医療機能別)

資料1

